

保育実習における身体活動と学生の気づきについて

林 悠 子

奈良文化女子短期大学

The Children's Physical Activities and the Student's Awareness of Their Properties in the Practices of Early Childhood Education and Care

Yuko Hayashi

Narabunka Women's College

本学学生の2回生時における地元保育所実習において、保育所内でどのような身体活動（体育・運動遊び・リズム遊びなど）が行われていたのか、またそれらの活動を観察する中で学生自身がどのような気づきをしたのかについて、実習後のアンケートにより調査を行った。活動を観察する中で、学生らは月齢による運動発達の違いや社会的発達の違いなどに気づき、また体育・表現の分野で実習中に必要とされる自身の課題についても明らかにすることができた。さらに、保育現場での活動や学生らが求めるスキルを明らかにすることによって、体育・表現に関した授業科目担当者としても、これからの指導内容を考える一助となった。

キーワード：保育所実習、身体活動、運動発達、気づき

1. はじめに

保育者養成校に通い保育者を目指す学生にとって、実際の保育所、幼稚園、施設で学ぶ「実習」は避けられない授業科目である。本学幼児教育学科の学生は、2回生時の6月に本人の地元において2週間の保育所実習を経験する。2回生時にクラス、グループ単位での保育所実習と幼稚園実習を経験しているが、たった一人で実習を行うのは初めてのことである。実習前には多くの学生が不安や緊張を口にするが、2週間の実習を終え授業で再会する頃には、同じ学生が晴れやかな笑顔で一回り成長した姿を見せてくれる。

筆者は2回生時の専門科目「体育の基礎」「体育の基礎Ⅱ」、2回生時の専門科目「身体表現」「子ども学ゼミ（表現）」の授業を通して、幼児の発達や運動遊び、ダンス創作や表現あそびの指導法などを教えている。授業の中ではそれぞれが保育者の立場を学びながら、同時に子どもの目線で運動や遊びを体験して、指導の仕方を学び合う。筆者は親子講座等で講師を務める中で、子どもたちや親子の活動に関わることはあるが、実際の保育現場に赴く機会はさほど多くはない。そのため、実習を終えた学生らに、実習園でどのようなことが行われ、何がはやっているのか、そしてどのようなことが必要とされていると気づいたかを尋ねることによって、より具体的で実践力につながる授業改善にも役立てたいと考えた。

林 悠子 〒631-8523 奈良市中登美ヶ丘3-15-1 奈良文化女子短期大学

2. 方法

2.1 対象

調査対象は、それぞれの地元での2週間の保育所実習（実習期間：6月6日（月）～6月18日（土））を終えた本学幼児教育学科2回生A・B組40名であるが、欠席等により有効回答者は37名であった。

2.2 調査の日時および場所

調査は、クラスごとに平成23年6月27日の「身体表現」の授業内で実施した。場所は本学アリーナのエクササイズルームであった。

2.3 調査内容

実習園（所）名、所在地、実習時の担当年齢（0～5歳）と、次の4つについて、自分の担当クラスもそれ以外のクラスも含めて気がついたことについて自由記述で回答を求めた。なお、年齢については0～2歳児では基本的に前半・後半と区分を設けて記入をするよう求めた。アンケート用紙は資料に示す。

- ①実習園（所）での身体活動（体育・運動遊び・リズム遊び）の有無（活動内容・年齢・人数）
- ②運動発達の違いで気がついたこと
- ③実習園（所）ではやっていた歌やダンス、運動遊びについて
- ④身体表現や幼児体育の分野で知っていればよかったと思ったこと

3. 結果

回答者37名の実習園（所）の内訳は、奈良：18（公立（以下、公とする）：5・私立（以下、私とする）：13、大阪：4（公：1 私：3）、京都：3（公：1 私：2）、兵庫：2（私：2）、三重：2（公：2）、和歌山2：（公：2 私：1）、埼玉・山口：1（公：1）、広島・福井：1（私：1）であった。

奈良の私立2園と京都の私立1園ではそれぞれ2名の学生が実習を行っていたが、他はすべて1名での実習であった。

3.1 実習園（所）での身体活動（体育・運動遊び・リズム遊び）とその年齢

実習園（所）ではどのような身体活動（体育・運動遊び・リズム遊び）がみられたか、その活動内容と年齢について回答を求めたところ、35名の回答がみられた。回答者37名のうち、項目1に無記入であった2名を除いた35名の回答を表1に示す。

0歳～2歳児クラスでの活動についての回答数は28であった（複数回答を含む）が、その活動内容は散歩やかけっこ、また体操、リトミック、リズム遊びなどの音楽に合わせて体を動かす軽い運動が中

心であった。1歳後半から2歳児ではこれらの活動に加えて、鉄棒・雲梯などの固定遊具での運動や、マットでの体育指導などの活動がみられた。

3歳児クラスでの活動についての回答数は11であったが、活動内容の中心は体操やダンスであった。鉄棒、体育指導に加え、サーキット遊びやリレー、おにごっこや、フルーツバスケットなどの室内ゲームのように活動の幅がみられるようになった。

4歳児クラスの活動についての回答数は9であったが、3歳児クラスと同様に体操やダンス、鉄棒などの体育的活動に加え、おにごっこや転がしドッジボール、水泳などさらに運動の要素が加えられた活動がみられるようになった。

5歳児クラスの活動についての回答数は14であった。体操やダンスといった活動はもちろんみられるが、鉄棒や跳び箱・大なわとびなどの回答数は8であり、5歳児では他の年齢に比べより運動的要素の強い活動が多くみられた。

また、35名の実習園（所）は、私立が21園（所）と公立が10園（所）であったが、活動に特徴的な違いは見られなかった。

3.2 運動発達の違いで気がついたこと

活動の様子を観察する中で、どのような運動発達の違いに気がついたか回答を求めたところ、29名の回答がみられた。37名の回答のうち、項目2に無記入であった8名を除いた29名の回答を表2に示す。

それぞれ自分の担当クラスでの気づきが主であったが（26名）、子どもたちの活動全体について回答するものもいた（3名）。「保育士の動きを上手く真似して動けたり、固定遊具にスムーズに登れたりと、一つ歳が違うだけでも様々な違いがあった」「園全体での外遊びでは、年齢によってまったく発達が違うのがよくわかった」というように年齢によって運動発達の度合いが違うことに気づき、特に0～2歳では年齢というよりも月齢による違いがとても大きいことへの気づきが多かった。

3.3 実習園（所）ではやっていた歌やダンス、運動遊びについて

実習園（所）で、どのような歌やダンス、運動遊びがはやっていた（耳にした・実際にした）かについて回答を求めたところ、30名の回答がみられた。37名の回答のうち、無記入の7名分を除いた30名の回答を表3に示す。

「雨に関する歌」や「『おかあさんといっしょ（NHK）』の歌」といった抽象的な記入もみられたが、具体的に挙げられていた曲名（35曲）の中でもっとも多かったのは「マルマルモリモリ」（13）で半数近くの回答があった。次いで「アンパンマン（たいそう）」（5）、「エビカニクス」（4）であった。また「体操」系の曲（7）、季節（雨・6月）の歌（12）の曲名も挙げられていた。なお、運動遊びについての回答はみられなかった。

表1. 実習園(所)での身体活動(体育・運動遊び・リズム遊び)とその年齢

学生	公・私	所在地	0歳・前	0歳・後	1歳・前	1歳・後	2歳・前	2歳・後	3歳	4歳	5歳	全クラス
8	私A	奈良	行進・ラジオ体操									
17	私	奈良	体操・ダンス		体操・ダンス							
13	私	奈良	ピアノに合わせてかけっこや足踏み				音楽に合わせて動く					
32	公	和歌山	散歩・室内での見立てあそび						体操・外遊び・リズム運動		リズム運動	
18	私	奈良			散歩・外遊び・リズム遊び							
34	公	埼玉			大型ブロック				フルーツバスケット・散歩		跳び箱・マルモリ・鉄棒・体操・ハンカチ落とし・いすくずし	
2	公	奈良			体操					ピアノに合わせてリズム運動・マルモリ		
12	私	奈良				散歩・体操・リトミック						
16	私B	奈良				リズム遊び・側転						
23	私	大阪				戸外遊び・プランコ・車						
3	公	奈良			滑り台・音楽に合わせて運動							
7	私	奈良			外遊び・室内遊び・体操							
37	公	山口			運動会のスタート練習		運動会のスタート練習					
29	私	兵庫			リズム運動・鉄棒・雲梯		リズム運動					
27	私C	京都			室内遊び		リトミック			外遊び(遊具・砂場)	外遊び(遊具・砂場)	
24	公	京都			リズム遊び						鉄棒・リレー・体操	
5	公	奈良					外遊び・体操					
20	公	大阪					リズム遊び				リズム遊び	
6	私	奈良					しっぽ取り・体育指導(マット・鉄棒)					
15	私B	奈良					ピアノに合わせてリズム運動					
28	私	兵庫					ロールマット・手押し車・倒立・体ほぐし・リズム遊び	ロールマット・手押し車・倒立・体ほぐし・リズム遊び				
31	公	三重					体操		体操・ダンス			
33	私	和歌山					手遊び・体操・ダンス・散歩		戸外遊び・かけっこ		リズム運動	
30	公	三重							影踏み・園庭遊び			
21	私	大阪						体操	体操・水泳・椅子取りゲーム		運動	
11	私	奈良						体操・体育指導	体操・体育指導		体操・体育指導	
35	私	広島						サーキット遊び	サーキット遊び・リレー		大なわとび	
1	公	奈良						体操・ダンス・キックボード			体操・ダンス	
10	私	奈良						跳び箱・鉄棒・おにごっこ・しっぽとり・フルーツバスケット・マルモリ				はとぼっぽ体操
9	私A	奈良								体育指導(跳び箱・鉄棒)・外遊び		
36	私	福井								おにごっこ	跳び箱・帽子取り・水泳	
22	私	大阪								椅子取りゲーム・ころがしドッチボール・おにごっこ・しっぽとり・ダンス		体操
25	私	京都									しっぽとり・リトミック・劇練習	
26	私C	京都									体操・リトミック・マット・跳び箱・鉄棒	
14	私	奈良									体操・園庭遊び・側転	

※ 表中のA・B・Cはそれぞれ同じ実習園を示す。

表 2. 運動発達の違いで気がついたこと

学生	公私	所在地	0歳・前		0歳・後		1歳・前		1歳・後		2歳・前		2歳・後		3歳		4歳		5歳	
8	私A	奈良	月齢の差が大きく、お座りはできても歩けない子どもはお尻ですって移動していた																	
10	私	奈良	月齢の差が大きく、月齢が大きいと体をゆらしたり動きがよく出ていた																	
3	公	奈良					滑り台では、月齢の違いですすんで遊ぶ子、保育者と一緒に遊ぶ子と違いがみられた													
7	私	奈良					バランスがとれる・とれないに差がみられる													
2	公	奈良					滑り台で危険なことがわからず勢いをつけていた・ボール遊びではつかんで歩くだけでせいじいばい								滑り台で危険なことがわかって勢いをコントロールしていた・ボール遊びではゴールに狙ってキックをしていた					
12	私	奈良							うまく真似はできなくてもできる範囲で動作をしていた											
16	私B	奈良							活発な子はよく体を動かしていた											
23	私	大阪							着替えが上手くできない											
17	私	奈良	歌いながら踊れる子もいれば踊るだけで精一杯の子、まったく踊らない子も見られた																	
13	私	奈良	歩ける子とつかまり立ちの子など、特に月齢の差が大きい						月齢の差が大きい											
19	私	奈良					年齢が上がるにつれて先生の真似が上手になった													
37	公	山口					スタートの合図に反応しない子や転んで泣いてしまう子がいるなど練習が必要だった													
5	公	奈良									よくジャンプをしていた									
6	私	奈良									腕の力が強く、鉄棒にぶら下がっていた									
15	私B	奈良									ピアノに合わせてリズム運動									
28	私	兵庫									月齢が早いほど、できることが多い									
31	公	三重									ブリッジができる・できない		元気に動く子・まったく動かない子と様々だった							
21	私	大阪											1歳の違いでもできることは大きく違う							
11	私	奈良											しっかりと手をつけて跳び箱が跳べない。他の運動でもうまく体の保持ができない				跳び箱の5段が跳べる子がいた			
34	公	埼玉											戸外遊びでは砂遊びが多い						戸外遊びでは走り回る子が多い	
9	私A	奈良													跳び箱のできるできないに差がみられた					
25	私	京都																	足の指まで上手く使い、しなやかな動きができていた	
26	私	京都																	跳び箱の4、5段が跳べる子がいた	
36	私	福井															同年齢でも運動の得手不得手がみられた			
22	私	大阪																		
33	私	和歌山																		
14	私	奈良	保育士の動きを上手く真似して動けたり、固定遊具にスムーズに登れたり、一つ歳が違うだけでも様々な違いがあった																	
18	私	奈良	園全体での外遊びでは、年齢によってまったく発達が違うのがよくわかった																	
35	私	広島	お手本を見せるとすぐできる子とそうでない子がいた																	

※ 表中のA・Bはそれぞれ同じ実習園を示す。

表3. 実習園(所)ではやっていた歌やダンス、運動遊びについて

学生	公私	所在地	園ではやっていた歌やダンス
2	公	奈良	マルマルモリモリ
22	私	大阪	マルマルモリモリ
10	私	奈良	マルマルモリモリ
28	私	兵庫	マルマルモリモリ
30	公	三重	マルマルモリモリ
32	公	和歌山	マルマルモリモリ
35	私	広島	マルマルモリモリ
36	私	福井	マルマルモリモリ
6	私	奈良	マルマルモリモリ、ソーラン節
26	私	京都	マルマルモリモリ、モンキー体操
34	公	埼玉	マルマルモリモリ、牛乳にゆにゆにゆ(体操)
24	公	京都	マルマルモリモリ、エビカニクス、ちいさな世界、あおい空にえをかこう
7	私	奈良	エビカニクス、マルマルモリモリ、アンパンマン 他多数
33	私	和歌山	エビカニクス
37	公	山口	エビカニクス
14	私	奈良	エビカニクス、たけのこ体操
3	公	奈良	アンパンマン
13	私	奈良	アンパンマンたいそう
11	私	奈良	アンパンマンたいそう、どうぶつたいそう1・2・3、大きな古時計、おたまじゃくしは蛙の子、かえるのうた、曜日のうた(手話)
19	私	奈良	あめふりくまのこ、かたつむり、アンパンマン
1	公	奈良	ラーメンたいそう
4	公	奈良	ラーメンたいそう、タコヤキのダンス*
8	私 _A	奈良	ぶんぶんぶん、雨降りお月さん、おはよう、さよならのうた、「おかさんといっしょ」の歌*
9	私 _A	奈良	雨降りお月さん、あめふりくまのこ、数字のうた、九九のうた
29	私	兵庫	あめふりくまのこ、とんとんトモチちゃん、雨に関する歌*
31	公	三重	かえるのたいそう、かえるのうた、かたつむり、おばけなんてないさ、こぶたぬきつねこ
15	私 _B	奈良	ハピハピ(体操)
16	私 _B	奈良	キャンブだホイ、ホップステップジャンプ、孫悟空、たんぽぽ、つくしがでたよ
25	私	京都	ミッキーマウスマーチ
20	公	大阪	おすしやさんたらおすしやさん

※ 表中のA・Bはそれぞれ同じ実習園を示す。*は具体的曲名でない、もしくは不明のもの

表4. 身体表現や幼児体育の分野における自分の課題

学生	公私	所在地	必要だったこと
2	公	奈良	ゲームやリズム遊びをもっと知っていれば設定保育の幅が広がっていたと反省をした
20	公	大阪	設定保育でも使えるように運動遊びのレパートリーを増やしたい マルマルモリモリダンスをしたい
24	公	京都	もっとダンスやリズム遊びのレパートリーを増やしたい
25	私	京都	手遊びをもっと知っておけばよかった
33	私	和歌山	運動遊びをもっと学んでおけばよかった
36	私	福井	室内ゲームをもっと知りたい
13	私	奈良	3〜5歳児では運動量も多く、マット運動の補助の仕方を教わっておけばよかった
19	私	奈良	何歳児がどれくらい動けるのか、もっと知っておけばよかった
1	公	奈良	「ラーメンたいそう」は、体操を楽しくできて子どもにも大人気だった
11	私	奈良	特になかったが、運動量が多いことに驚いた

3.4 身体表現や幼児体育の分野における自分の課題

身体表現や幼児体育などの分野で知っていればよかった、必要とされたと思うことについて回答を求めたところ、10名の回答がみられた。10名の回答を表4に示す。

10名の回答のうち、3名は園での活動での気づきや、園で行った体操やダンスについての感想と実施の希望であった。8名の回答では「設定保育に役立てるためにももっと運動遊びや室内ゲーム、ダンスなどを知っていればよかった」というものであった。

4. 考察

本学学生の2回生時における地元保育所実習において、実習園（所）内でどのような身体活動（体育・運動遊び・リズム遊びなど）が行われていたのか、またそれらの活動を観察する中で学生自身がどのような気づきをしたのか、そしてどのような歌やダンスが行われていたのか、実習後のアンケートにより調査を行った。

乳幼児期の運動については、5領域の中の「健康」という領域に関わる。保育所保育指針¹⁾にはそのねらいとして「自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする」とあり、そのための内容としては、「いろいろな遊びの中で十分に体を動かす」「進んで戸外で遊ぶ」こととある。また、体を動かす場合にはいわゆる体育的な活動だけではなく、ダンスなど表現活動もある。これは「表現」という領域と関わり、「感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ」「生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ」ことをねらいとしている。そのために、保育所（園）では「保育士等と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶ」活動や「感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり」「自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりする楽しさを味わう」活動が取り入れられている。

特に、発達段階において基本運動技能を獲得する前の0～2歳児では、音楽やリズムに合わせて歩いたり、体を揺らしたり、簡単なふりを真似したりといったリズム運動などが活動の中心となってくる。実際に、実習園（所）でみられた活動の中心は、散歩やかけっこ、また体操、リトミック、リズム遊びなどの音楽に合わせて体を動かす軽い運動であった。しかしながら、歩行が安定したり低いところから跳び降りたりできるようになってくる1歳後半から2歳児ではこれらの活動に加えて、鉄棒・雲梯などの固定遊具での運動や、マットでの体育指導などの活動を取り入れた実習園（所）もみられた。

3歳児～5歳児でも、報告された活動の多くは体操やダンスであった。しかし3歳児では鉄棒、体育指導に加え、サーキット遊びやリレー、おにごっこ、フルーツバスケットなどの室内ゲームのように活動の幅が広がり、4歳児、5歳児では鉄棒や跳び箱などの体育的活動に加え、おにごっこや転がしドッジボール、水泳、大なわとびなどさらに運動の要素の強い活動がみられるようになった。私立保育所（園）と公立保育所（園）とで、行われている身体活動に特に差はみられなかったが、学生11の実習園（所）では、3～5歳児クラスでは毎週体育指導が行われていた。ある短期大学の調査では幼稚園実習園の85.6%が外部体育指導員を導入していた（柳田、2008）²⁾。また、幼稚園で運動機能向上のため

に特別な運動プログラムを取り入れる試みなども報告されている（山田ら、2007）³⁾。幼稚園と保育所（園）と単純な比較は困難であり、また学生からの聞き取りに不十分な点もあるが、実際に保育所（園）でも、特にマット運動や鉄棒などの運動指導を外部講師に依頼することも多いと考えられる。

学生らは、毎日子どもたちと接し、実習日誌を書くことでその日の活動を見直し、2週間の実習において多くのことを学び取る。特に運動発達においてどのような気づきを得たか調査したところ、多くの学生らは子どもたちの発達の度合いが年齢によってまったく異なることに改めて気づいたようである。特に0～2歳では年齢という大きな区分でなく、月齢による違いがとても大きいことへの気づきが多かった。筆者は、1年次前期の講義「体育の基礎」において、運動発達とそれに応じたさまざまな運動遊びについて教えている。運動遊びの実践の中で「〇歳ではこの動きが可能である」「こんな動きはまだできない」と学習していても、実際に子どもたちに接してみないとわからない。5歳児で「5段の跳び箱が跳べていた」（学生11・26）や「足の指まで使ったしなやかな動きができていた」（学生25）というように、子どもの能力への率直な驚きと気づきがみられた。また、学生2や学生34のように、同じ「滑り台遊び」「ボール遊び」「戸外遊び」といっても年齢によって遊び内容や運動能力がまったく異なることへの気づきもみられた。このように運動発達や遊びの内容について自身の体験をふりかえることで、いままでの学習の再認識につながるであろう。

実習園（所）での歌やダンス、運動遊びのはやりについては、やはり季節性と流行性がみられた。実習時期が6月であったため、「雨」とつく歌や梅雨を連想させるような動物などの歌がよく歌われていた。また、特に具体的に挙げられた曲の半数近くを占めたのは「マルマルモリモリ」であった。これは今年4月～6月に放送された人気テレビドラマの主題歌であり、これを歌う出演子役の人気や振り付けも話題となり、5月25日に発売されたCDも爆発的にヒットした歌である。年長児では振り付けを覚えて一緒に踊り、年少児でも歌に合わせて体を動かしたりそれらしい振り付けを真似る姿がみられたという。他にも、振り付けの入った「体操」系の歌も多くの実習園（所）で活動に使われていた。実習前に一つでも多くの季節に関係した歌や遊び、そのときの流行曲などを覚えることで、子どもたちの活動の導入になったりコミュニケーションに役立つと考えられる。

またこのこととも関連するが、身体表現や幼児体育などの分野で知っていればよかった、必要とされたと思うことについては、おおむね「設定保育に役立てるためにももっと運動遊びや室内ゲーム、ダンスなどを知っていればよかった」というものであった。今回、運動遊びなどを設定保育で実施したかどうかについては聞いていないが、保育者養成専門学校生の実習中の運動遊びの実施状況に関する研究では76%が運動遊びを実施したという（松原、2003）⁴⁾。また、実習中の運動遊びとしては、鬼ごっこやダンス、ボール遊び、固定遊具遊びが実施されていた（黒岩、2003）⁵⁾。本学学生についても、運動遊び等の身体活動の設定保育での実施状況なども調査したいと思う。

学生らは何事においても手取り早く「すぐに使えるもの」「いま役に立つもの」を求める傾向にある。担当科目では学習のねらいや半年間の講義計画をたて、講義終了時の到達目標に向かって講義を重ねている。粘り強く自分で課題を見つけて学習してもらいたいのが、ただし実習前には特に、即戦力となるようなダンスやゲームなどを教え込むことも必要であると考えさせられた。今後は、9月に行う2回生幼稚園実習や1回生時の保育所実習・幼稚園実習でも同様の調査を行うことで、特に実践力に結び付く講

義のありようについても考えていきたい。

5. おわりに

本学学生の2回生時における地元保育所実習において、どのような身体活動が行われ、それらの活動を観察する中で学生自身がどのような気づきをしたのか、実習後のアンケートにより調査を行った。保育所（園）では、体操やリズム運動などの軽運動が中心であったが、年齢が上がるにつれて運動量の多い活動や遊びの種類が増していった。また、それらの身体活動を観察する中で、学生らは月齢による運動発達の違いや社会的発達の違いなどに気づき、実習中に必要とされる自身の課題についても明らかにすることができた。さらに、実際の保育現場での活動や学生らが求めるスキルを明らかにすることによって、体育・表現に関した授業科目担当者としても、これからの指導内容を考える一助となった。

引用文献

- 1) 保育所保育指針．厚生労働省告示第141号．
- 2) 柳田信也（2008）幼稚園教師の運動遊びに関する指導理念の調査研究．国際学院埼玉短期大学研究紀要29：21-26．
- 3) 山田洋・加藤達郎・知念嘉史・相澤慎太・塩崎知美・三上恭史・長堂益丈（2007）幼児期の運動機能向上のための「運動遊びプログラム」の提案 第二報ー介入幼稚園におけるコントロール測定の結果についてー．東海大学スポーツ医科学雑誌19：33-37．
- 4) 松原敬子（2003）保育者養成における運動遊びに関する考察．日本保育学会大会発表論文集56：200-301．
- 5) 黒岩英子（2003）保育所実習における運動遊びと短大における体育児の運動遊び．西南女学院短期大学研究紀要49：29-34．

参考文献

- 青野光子・松本典子（編著）（2011）幼児体育．建帛社．
- 岩崎洋子（編）（2008）保育と幼児の運動あそび．萌文書林．
- 黒井信隆・山本秀人（編著）（2010）0～5歳児のたのしい運動あそび 乳幼児の発達課題に対応した種目別・年齢別指導．いかだ社．

[資料：アンケート用紙]

実習後アンケート

学籍番号 _____ 名前 _____ 記入日 _____ / _____

実習園名 [公立・私立] 所在地 [] 府県

担当年齢 [0 (前・後)・1 (前・後)・2 (前・後)・3 ・4 ・5] 歳児

1. 園では、どのような身体活動（体育・運動遊び・リズム遊びなど）がありましたか。

{	活動内容	年齢[]歳	・	人数（概数）[]人	}
	活動内容	年齢[]歳	・	人数（概数）[]人	
	活動内容	年齢[]歳	・	人数（概数）[]人	

2. 活動の様子の中で、運動発達の違いで気がついたことを書いてください。

3. 園ではやっていた（耳にした・実際にした）歌やダンス、運動遊びがあれば書いてください。

4. 身体表現や幼児体育などの分野で知っていればよかった、必要とされたということがあれば書いてください。